

茨城県つくば市の「つくば国際会議場」で、2024年3月28日（木）～29日（金）の2日間にわたって「つくば Science Edge 2024」が、開催されました。海外を含めた日本各地より、**国内20都道府県60校、海外4ヶ国19校（全306チーム）延べ2,144名（2日間合計）の皆様にご参加いただきました。**今年も、SDGsを意識した取組みとして、CO2ゼロマイルを導入しての開催となりました。多くの皆様にご来場いただき、誠にありがとうございました。今年度、新たに組み込んだブースプレゼンテーションも好評いただきながら、無事終了する事ができました。

**オーラルプレゼン倍率
38.25倍！**

【サイエンスアイデアコンテスト】

オーラルプレゼンテーション、ポスターセッションは、発表者の日頃の研究成果を国際的に活躍する科学者・研究者の前でプレゼンテーションできる「つくば Science Edge」ならではのプログラムです。今回は、多くの方々の前で、素晴らしいオーラルプレゼンテーションを披露した8チームの他にも、サテライトプレゼンテーションやブース・フロアポスターを実施し研究者の先生方よりアドバイスをいただきました。また、審査員による厳正なる審査の結果、高いレベルで拮抗し、文部科学大臣賞をはじめとして、創意指向賞、探求指向賞、未来指向賞、アイデア賞や各ポスター賞等が選出されました。

【講演会】

今年は、日本で初めて風船による宇宙撮影（スペースバルーン）を成功させた岩谷圭介様に「【週末、宇宙へ行く？】が実現する世界へ」をテーマとして講演いただきました。



【サイエンスワークショップ】

「つくば Science Edge」の目玉でもあるサイエンスワークショップには、今年も各研究機関、大学の他に地元の高校等のご協力により、10のワークショップ（各2回）と2つの体験コーナーが、全て満員となる開催でした。また、海外からの渡航者用に英語のScience Bus Tourを4施設5コース実施しました。



【国際交流会】

国内外から参加の高校生、約150名が、ジェスチャーや英会話を交えての交流会に参加し、楽しいひと時を過ごしました。



【CO2ゼロマイルを導入】

イベントを実施する際に、その会場で使用される電気を再生可能エネルギーに置き換えることで、CO2を実質0にできるサービスです。

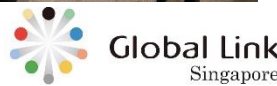
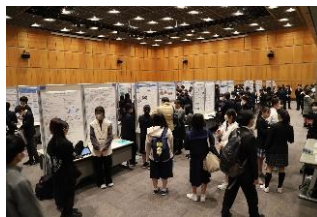


【つくばScienceEdgeとは】つくば Science Edge は、サイエンスの研究に深い関心を持っておられる中学生や高校生の皆さんがおやりになった研究成果を的確に評価することにより、皆さんがサイエンスと取り組む意欲を高めたいと考えております。未来を担う若い皆さんはサイエンスの研究を通じ、過去ではなく“未来に学ぶ”ことに励んでください。（江崎玲於奈）



【フロアポスター発表】266チームの生徒がお互いに活発な意見交換を行い、GoodJobシールを使用して交流しました。

【ブースポスター発表】24チームの発表者が、博士号を持つ審査委員へプレゼンテーションを行い、多くのアドバイスをいただきました。



主催／つくば Science Edge 2024 実行委員会

共催／一般財団法人茨城県科学技術振興財団、つくば国際会議場、株式会社 J T B

後援／文部科学省、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)、茨城県、茨城県教育委員会、つくば市、つくば市教育委員会、つくばサイエンス・アカデミー

協力／クイーンズランド政府観光局、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構(JAEA)、国立研究開発法人産業技術総合研究所(AIST)、大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構(KEK)、国立研究開発法人防災科学技術研究所(NIED)、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)、一般社団法人次世代教育ネットワーク機構、筑波大学、茨城大学、東京理科大学、文教大学、茨城県立竹園高等学校、株式会社バイオネット研究所、株式会社バスクリン

●オーラルプレゼンテーション

文部科学大臣賞 鹿児島県立国分高等学校 / 伊地知 夢乃、水元 あおい、石崎 嵯弥、迫田 悠希、松岡 恵佑、森山 心路

『河川・湖沼・海水中のリン酸濃度測定器の開発』

創意指向賞 PingTung County Fang Liao High School / CHENG-HSIEN, CHO, CHIH-TANG, CHENG, YI-YIN, TSAI

『Suppression of Shuttle Effect of Li-S Batteries by Carbonized Interlayers of different temperatures Derived from Barringtonia Leaf』

探求指向賞 学校法人池田学園池田中学・高等学校 / OGURA Koharu, KATO Honoka, NAKAO Ayano

『What we have learned from reconstructing the weather of the Edo period using the records of the weather recorded in the "Ikeda Shrine Diary"-An attempt to link two historical documents-』

未来指向賞 沖縄工業高等専門学校 / 吉井 慈恩、仲宗根 由弥、崎山 竜

『IoTとAI技術を駆使した次世代のリップカレント予測システム』

審査委員特別賞 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校 / Nabeta Maho, Ono Yasuyuki, Kaji Aasato

『Vertical Plunge』

オーラル特別賞 山形県立村山産業高等学校/下山 こも、佐藤 優風、井上 彩、松浦 唯豊、五十嵐 旭人、鈴木 実那、辻村 怜奏

『学校産エンドファイトで全国のソバ栽培から約4400トンの化学肥料を削減する！』

オーラル特別賞 宮城県多賀城高等学校 / 三浦 世那、山本 陸、久保 叶悠、前畑 匠亜、松井 敬

『3Dモデルを活用した災害伝承』

オーラル特別賞 早稲田大学高等学院 / 藤井 快地

『人工磁場下での小動物の行動を記録する簡易装置の開発』

●日本語ポスター賞

第1位 東京農業大学第一高等学校中等部 / 原 優花『浮稲における伸長促進物質IAAとGAの協調関係』

第2位 埼玉県立熊谷西高等学校 / 柳 拓希『硫化亜鉛ナノ粒子の組成分析と表面効果の検討』

第3位 鹿児島県立国分高等学校 / 山本 夏音『鹿児島県における絶滅危惧種カビゴケの最近の分布およびその生態』

奨励賞 獨協埼玉中学高等学校 / 岡部 哉哉『風媒花粉の飛散は校舎の局所風を反映するか』

●英語ポスター賞

第1位 広尾学園高等学校 / 坂部 結乃『Co-cultivation of Chlamydomonas reinhardtii with fungus』

第2位 Taipei Municipal Lishan High School / Tu Caron『Invasive Alien Species Spot-legged Tree Frog

Polypedes megalcephalus Reproduction Strategy and Prevention Suggestion』

第3位 横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校 / 松本 駿『Nyctinastic Movements in Leguminous Plants: the Effect of Temperature changes, and Environmental Adaptation』

第3位 Taipei Municipal Lishan High School / Chu Jui-Ning『Desalination of Seawater ? Exploring the Impact of Photothermal Materials on Photothermal Thin-Film Distillation Technology』

●アイデア賞 宮城県多賀城高等学校 / 三浦 世那『3Dモデルを活用した災害伝承』

●GLQ賞 順天高等学校 / 内藤 醒希『日焼け止めの成分ベンゾフェノンが淡水域生態系に及ぼしうる深刻な影響』

●ブースポスター賞

山形県立村山産業高等学校『絶対に無理！ 8月に山形県産サトイモで芋煮をやるためのベストミックスを考える研究』 / 大妻嵐山高等学校『生物 セイヨウミツバチの幼虫を用いた水素発生と燃料電池への応用』 / 順天高等学校『生物 日焼け止めの成分ベンゾフェノンが淡水域生態系に及ぼしうる深刻な影響』 / 土浦日本大学高等学校『淡水藻類廃棄物に含まれる糖類に着目し、バイオスティミュラントとしての最適使用条件を明らかにする～開発途上国における実装へのファイナルステップ～』 / 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校『色字共感者とはどのような法則で漢字に色を見るか』 / 東京都立小石川中等教育学校『金樹の成長過程の解明』

●フロアポスター賞

New Era International School『ZeroWasteLoop: School Papers and Kitchen Peels in Tissue Innovation』 / Miwada Gakuen Junior and Senior High School『The Camphor Tree protects its territory with its toxins.』 / Taipei Municipal Lishan Senior High School『Investigation of Tadpole Swimming Speed and Resting Height』 / 筑紫女学園高等学校『心臓構築への可能性』 / 山形県立村山産業高等学校『学校産キノコを活用した新素材！MYCOREATHER（マイコレザー）の開発』 / 東洋女子高等学校『発光物質・発光バクテリアを利用した光る花の開発』 / 鹿児島県立国分高等学校『音でカラスがいなくなる！？～カラスの鳴き声とその有効活用について～』 / 清真学園高等学校『芋プロジェクト ～干し芋の廃棄物から植物性分解プラスチックに～』 / 駒込高等学校『水の成分や接触面による温度・体感温度への影響』 / 石川県立小松高等学校『身近なCOVID溶液を媒体とし光を広範囲に散乱させたときに溶液が最も明るくなる条件』 / Man Kwan Pak Kau College『CC Smart cushion』 / New Era International School『Sustainable Biofuel Production from Waste Biomass』 / 神奈川県立相模原弥栄高校『きらめく天然岩絵具で夢を描き出そう！』



◆文部科学大臣賞・3賞・ポスター賞英語部門1位には、Global Link Singaporeにご招待、オーラル特別賞・アイデア賞・ポスター賞(日本語部門・英語部門)の各チームには、推薦権を授与致します。GLQ賞には、Global Link Queenslandにご招待いたします。

詳細な報告書(印刷物)の配布、およびホームページへの掲載は、6月頃を予定しています。オーラルプレゼンテーション、ワークショップの詳細については、ぜひそちらをご参照ください。

次回は 2025年3月28日(金)～29日(土) に開催します！